

第6章 雇用表

1 雇用表の見方・使い方

(1) 雇用表の概要

雇用表は、産業連関表の作成年の1年間の生産活動に投入された労働量を、従業者の地位別（個人業主、家族従業者、有給役員、常用雇用者、臨時雇用者）に区分し取引基本表の列部門ごとに年平均人数で表示したものである。

雇用表の各部門は事業所単位での分類ではなく、産業連関表の概念・定義に基づくアクティビティベース（生産工程や生産技術といった生産活動により区分した産業分類）を単位とした分類である。例えば1つの事業所が2つ以上の異なる製品を生産している場合、事業所ベースの分類であれば主たる生産物により産業が分類されるのに対し、アクティビティベースでは、それぞれの生産品ごとに産業を格付けすることとなる。

したがって、1人1業種を原則とする国勢調査やその他の統計と雇用表の雇用者数が異なって表示される場合がある。また、統計資料の制約上、厳密に区分することが困難な部門もある。このため、他の統計調査と比較する場合は注意が必要となる。

雇用表は作成年の就業構造を知ることができるだけでなく、産業連関表の投入構造や生産誘発額を用いて、就業係数や雇用係数、就業（雇用）誘発係数を求めることができる。

（121 ページ参照）

これらを用いて、生産活動における労働投入量、生産増加による雇用の発生量を計測することができる。

(2) 雇用表の見方

雇用表の表側は、取引基本表の列部門と一致している。

また、表頭は、次のような、従業者の従業上の地位別内訳となっている。

従業上の地位	定 義
個人業主	個人経営の事業所の事業主で、実際にその事業所を経営している者。
家族従業者	個人業主の家族で、賃金や給料を受けずに仕事に従事している者。一般の従業員と同等の賃金や給料を受けている者は雇用者に分類する。
有給役員	常勤及び非常勤の法人や団体の役員であって有給の者。役員や理事であっても、職員を兼ねて一定の職務に就き、一般の従業員と同じ給与規則に基づいて給与の支給を受けている者は、雇用者に分類する。
常用雇用者	期間を定めずに雇用されている者若しくは1か月を超える期間を定めて雇用されている者又は18日以上雇用されている月が2か月以上継続している者。この条件をみだす限り、見習、パートタイマー、臨時・日雇など名称がどのようなものであっても常用雇用者に分類する。休職者も含む。
正社員・ 正職員	常用雇用者のうち、一般に「正社員」、「正職員」などと呼ばれている者。
正社員・ 正職員以外	常用雇用者のうち、「パートタイマー」、「アルバイト」、「契約社員」、「嘱託」又はそれに近い名称で呼ばれている者。
臨時雇用者	常用雇用者以外の雇用者で、1か月未満の期間を定めて雇用されている者又は日々雇用されている者。

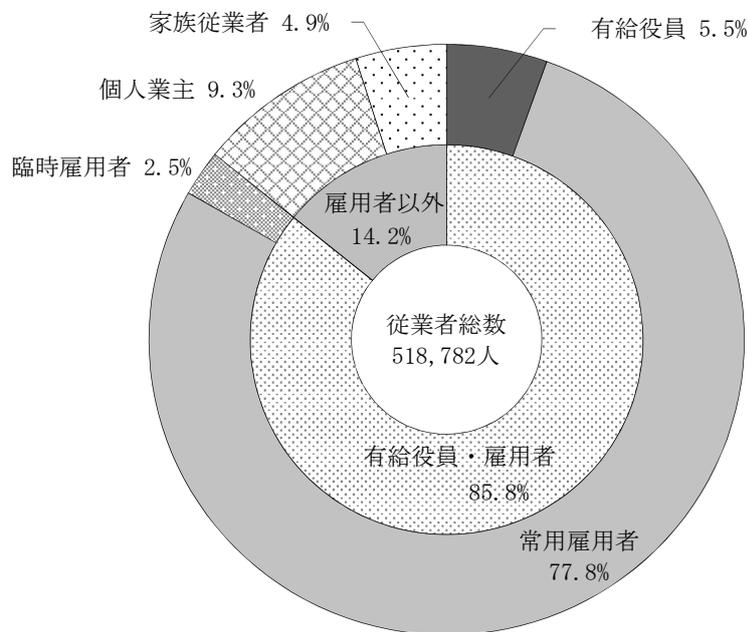
※特殊な取り扱いをする部門である「住宅賃貸料（帰属家賃）」、「自家輸送」及び「事務用品」については、従業者は発生しないものとしている。

なお、表の中で参考として掲げている「1人当たり有給役員・雇用の雇用者所得」は次の算式により求めた。

$$1 \text{人当たり有給役員・雇用の雇用者所得} = \frac{\text{雇用者所得}}{\text{有給役員数} + \text{常用雇員数} + \text{臨時雇員数}}$$

(3) 雇用表からみた県内の就業構造

平成27年の県内生産活動に従事した従業者総数は51万8,782人で、これは全国(6,856万5,034人)の0.8%にあたる。これを従業上の地位別にみると、常用雇員が40万3,681人(県内従業者全体の77.8%)で最も多く、以下、個人業主4万8,056人(同9.3%)、有給役員2万8,340人(同5.5%)、家族従業者2万5,628人(同4.9%)、臨時雇員1万3,077人(同2.5%)となっている。



次に、37部門表により部門別の従業者総数をみると、商業が10万1,515人(構成比19.6%)と最も多く、医療・福祉6万1,996人(同12.0%)、対個人サービスの5万3,214人(同10.3%)などが続いている。

反対に最も少ないのは、情報通信機器の5人、続いて鉱業480人、業務用機械586人などとなっている。(「事務用品」及び「分類不明」を除く。以下同じ。)

また、本県の産業別就業構造の特徴を、従業者の部門別構成比を全国との比較で表した特化係数でみると、石油・石炭製品が3.89と最も高く、他に鉱業(1.67)、他に分類されない会員制団体(1.65)などが全国水準を上回っている。反対に全国水準を下回っているものは、情報通信機器(0.00)、業務用機械(0.30)、情報通信(0.48)などである。

産業別従業者数、構成比、特化係数

列符号・名称	従業者総数（人）		構成比（％）		特化係数 (A/B)
	香川県	全国	香川県 (A)	全国 (B)	
01 農林漁業	35,926	3,902,096	6.9	5.7	1.22
06 鉱業	480	38,002	0.1	0.1	1.67
11 飲食料品	15,823	1,565,274	3.1	2.3	1.34
15 繊維製品	5,145	466,577	1.0	0.7	1.46
16 パルプ・紙・木製品	6,450	582,777	1.2	0.8	1.46
20 化学製品	3,902	389,792	0.8	0.6	1.32
21 石油・石炭製品	691	23,469	0.1	0.0	3.89
22 プラスチック・ゴム製品	4,819	730,397	0.9	1.1	0.87
25 窯業・土石製品	4,014	335,289	0.8	0.5	1.58
26 鉄鋼	1,215	265,658	0.2	0.4	0.60
27 非鉄金属	978	150,358	0.2	0.2	0.86
28 金属製品	7,472	903,182	1.4	1.3	1.09
29 はん用機械	3,639	420,762	0.7	0.6	1.14
30 生産用機械	4,314	790,156	0.8	1.2	0.72
31 業務用機械	586	259,015	0.1	0.4	0.30
32 電子部品	2,552	476,495	0.5	0.7	0.71
33 電気機械	5,033	550,935	1.0	0.8	1.21
34 情報通信機器	5	159,594	0.0	0.2	0.00
35 輸送機械	6,701	1,083,371	1.3	1.6	0.82
39 その他の製造工業製品	7,092	787,101	1.4	1.1	1.19
41 建設	36,681	5,000,003	7.1	7.3	0.97
46 電力・ガス・熱供給	2,549	230,407	0.5	0.3	1.46
47 水道	924	98,512	0.2	0.1	1.24
48 廃棄物処理	3,651	495,444	0.7	0.7	0.97
51 商業	101,515	10,936,087	19.6	15.9	1.23
53 金融・保険	13,089	1,814,342	2.5	2.6	0.95
55 不動産	6,053	960,969	1.2	1.4	0.83
57 運輸・郵便	28,955	3,569,214	5.6	5.2	1.07
59 情報通信	6,272	1,744,870	1.2	2.5	0.48
61 公務	17,602	2,028,588	3.4	3.0	1.15
63 教育・研究	23,821	3,480,442	4.6	5.1	0.90
64 医療・福祉	61,996	7,694,143	12.0	11.2	1.06
65 他に分類されない会員制団体	7,193	575,575	1.4	0.8	1.65
66 対事業所サービス	38,329	7,411,804	7.4	10.8	0.68
67 対個人サービス	53,214	8,633,518	10.3	12.6	0.81
69 分類不明	101	10,816	0.0	0.0	1.23
TOTAL	518,782	68,565,034	100.0	100.0	1.00

(4) 雇用表の使い方

雇用表は本県での就業構造の把握に有用なものであるが、これを取引基本表、逆行列係数表と連結することで、各部門の最終需要の変化がもたらす雇用への波及分析等を行うことが可能となる。

① 就業（雇用）係数

就業（雇用）係数とは、各部門の従業者数（雇用係数の場合は、有給役員＋雇用者数）を対応する産業連関表の部門の生産額で除したものであり、1単位の生産を行うために投入される労働量を示すものといえる。

この計算式は、次式によって表すことができる。

$$\text{就業係数（雇用係数）} = \frac{\text{従業者数（有給役員＋雇用者数）}}{\text{県内生産額}}$$

この係数を利用することにより、ある産業の生産の増加に伴ってどれだけの労働力の需要が発生するかを、次式により計算することができる。

$$\text{労働力の需要増加} = \text{就業係数（雇用係数）} \times \text{県内生産額の増加分}$$

ただし、現実には、企業はまず余剰人員の活用や所定外労働時間の増加等により、生産額の増加に対応するものと考えられることから、生産額の増加は、労働力の需要増をもたらすとみることにはできても、ただちに従業者数（有給役員＋雇用者数）の増加に結びつくとは限らない。

② 就業（雇用）誘発係数

就業（雇用）係数の対角行列に産業連関表の逆行列係数を乗じたものである。

これは、ある産業に1単位の需要が生じた場合に、直接・間接的に各産業にどれだけ従業者（雇用者）の増加を誘発するかを示している。また、就業（雇用）誘発係数の列和は当該部門の1単位の需要発生による産業全体にあたえる従業者（雇用者）の誘発数を示している。

$$\text{就業（雇用）誘発係数} = \hat{L}[I - (I - \hat{M})A]^{-1}$$

ただし、 \hat{L} は就業（雇用）係数の対角行列、 $[I - (I - \hat{M})A]^{-1}$ は逆行列係数

③ 雇用分析の方法

前述の就業（雇用）誘発係数を用いることで、県内である産業に最終需要が生じた場合における、県内の従業者（雇用者）の誘発者数を計測することができる。

県内に最終需要が生じた場合、それは県内の生産だけでなく県外への生産（移輸入）も誘発することとなり、これを除くため最終需要額に県内自給率を乗じ、県内生産物に対する最終需要を求める。

県内自給率の対角行列を $(I - \hat{M})$ 、各部門の最終需要額ベクトルを F とすると、県内生産物に対する最終需要は、 $(I - \hat{M})F$ であるから、就業（雇用）誘発係数にこれに乗ずることにより、県内の従業者（雇用者）の誘発者数を求めることができる。

$$\text{就業（雇用）誘発者数} = \hat{L}[I - (I - \hat{M})A]^{-1}(I - \hat{M})F$$

2 雇用表及び係数表

(1) 雇用表及び就業係数・雇用係数 (13 部門)

列符号・名称	従業者総数	個人業主	家族従業者	有給役員 雇用者	有給役員	雇用者
01 農林漁業	35,926	15,584	15,840	4,502	357	4,145
02 鉱業	480	16	7	457	86	371
03 製造業	80,431	5,184	2,005	73,242	4,949	68,293
04 建設	36,681	3,869	1,131	31,681	5,892	25,789
05 電力・ガス・水道	3,473	0	0	3,473	81	3,392
06 商業	101,515	5,166	2,217	94,132	4,234	89,898
07 金融・保険	13,089	294	22	12,773	491	12,282
08 不動産	6,053	1,260	238	4,555	1,704	2,851
09 運輸・郵便	28,955	901	177	27,877	1,764	26,113
10 情報通信	6,272	302	10	5,960	418	5,542
11 公務	17,602	0	0	17,602	0	17,602
12 サービス	188,204	15,480	3,981	168,743	8,360	160,383
13 分類不明	101	0	0	101	4	97
TOTAL	518,782	48,056	25,628	445,098	28,340	416,758

(単位：人)

				1人当たり 有給役員・ 雇用の 雇用の所得 (千円)	就業係数 (人/百万円)	雇用係数 (人/百万円)	
常用雇員	正社員・ 正職員	正社員・ 正職員以外	臨時雇員				
3,171	1,727	1,444	974	2,982	0.301289	0.037755	01
362	321	41	9	3,814	0.070838	0.067444	02
67,029	53,261	13,768	1,264	4,731	0.034587	0.031495	03
24,691	21,915	2,776	1,098	4,863	0.077697	0.067106	04
3,330	3,093	237	62	4,314	0.017093	0.017093	05
89,170	57,948	31,222	728	2,706	0.141571	0.131275	06
12,231	10,045	2,186	51	6,715	0.045174	0.044084	07
2,751	2,078	673	100	4,941	0.011875	0.008937	08
25,689	19,251	6,438	424	5,203	0.059265	0.057059	09
5,459	4,873	586	83	5,195	0.028938	0.027499	10
16,802	14,094	2,708	800	5,367	0.067638	0.067638	11
152,901	89,963	62,938	7,482	4,088	0.106645	0.095618	12
95	88	7	2	4,743	0.002512	0.002512	13
403,681	278,657	125,024	13,077	4,167	0.069975	0.060036	

(2) 雇用手表及び就業係数・雇用係数 (37 部門)

列符号・名称	従業者 総数	個人業主	家族 従業者	有給役員 雇用者	有給役員	
					有給役員	雇用者
01 農林漁業	35,926	15,584	15,840	4,502	357	4,145
06 鉱業	480	16	7	457	86	371
11 飲食料品	15,823	628	289	14,906	921	13,985
15 繊維製品	5,145	1,021	529	3,595	358	3,237
16 パルプ・紙・木製品	6,450	619	224	5,607	473	5,134
20 化学製品	3,902	20	18	3,864	88	3,776
21 石油・石炭製品	691	0	0	691	2	689
22 プラスチック・ゴム製品	4,819	189	33	4,597	207	4,390
25 窯業・土石製品	4,014	423	166	3,425	336	3,089
26 鉄鋼	1,215	59	19	1,137	109	1,028
27 非鉄金属	978	71	18	889	23	866
28 金属製品	7,472	558	144	6,770	665	6,105
29 はん用機械	3,639	168	45	3,426	186	3,240
30 生産用機械	4,314	215	65	4,034	385	3,649
31 業務用機械	586	12	4	570	53	517
32 電子部品	2,552	31	19	2,502	28	2,474
33 電気機械	5,033	47	7	4,979	174	4,805
34 情報通信機器	5	0	0	5	0	5
35 輸送機械	6,701	148	54	6,499	292	6,207
39 その他の製造工業製品	7,092	975	371	5,746	649	5,097
41 建設	36,681	3,869	1,131	31,681	5,892	25,789
46 電力・ガス・熱供給	2,549	0	0	2,549	81	2,468
47 水道	924	0	0	924	0	924
48 廃棄物処理	3,651	236	33	3,382	261	3,121
51 商業	101,515	5,166	2,217	94,132	4,234	89,898
53 金融・保険	13,089	294	22	12,773	491	12,282
55 不動産	6,053	1,260	238	4,555	1,704	2,851
57 運輸・郵便	28,955	901	177	27,877	1,764	26,113
59 情報通信	6,272	302	10	5,960	418	5,542
61 公務	17,602	0	0	17,602	0	17,602
63 教育・研究	23,821	50	8	23,763	193	23,570
64 医療・福祉	61,996	1,607	769	59,620	2,104	57,516
65 他に分類されない会員制団体	7,193	516	113	6,564	1,406	5,158
66 対事業所サービス	38,329	5,354	768	32,207	2,448	29,759
67 対個人サービス	53,214	7,717	2,290	43,207	1,948	41,259
69 分類不明	101	0	0	101	4	97
TOTAL	518,782	48,056	25,628	445,098	28,340	416,758

(単位：人)

				1人当たり 有給役員・ 雇用の 雇用の所得 (千円)	就業係数 (人/百万円)	雇用係数 (人/百万円)	
常用 雇員	正社員・ 正職員	正社員・ 正職員以外	臨時 雇員				
3,171	1,727	1,444	974	2,982	0.301289	0.037755	01
362	321	41	9	3,814	0.070838	0.067444	06
13,475	7,130	6,345	510	3,656	0.040907	0.038536	11
3,196	2,302	894	41	3,413	0.108882	0.076080	15
5,058	4,538	520	76	4,343	0.043494	0.037809	16
3,767	2,980	787	9	4,935	0.024272	0.024036	20
687	644	43	2	2,101	0.007762	0.007762	21
4,364	3,816	548	26	4,732	0.055169	0.052627	22
3,038	2,762	276	51	4,357	0.059282	0.050583	25
1,011	957	54	17	2,075	0.037122	0.034739	26
866	736	130	0	8,198	0.002196	0.001996	27
6,045	5,386	659	60	5,122	0.056777	0.051443	28
3,226	2,651	575	14	7,245	0.036234	0.034113	29
3,623	3,194	429	26	6,267	0.043413	0.040595	30
516	464	52	1	4,351	0.060195	0.058552	31
2,473	2,238	235	1	6,712	0.051401	0.050394	32
4,789	3,811	978	16	5,696	0.036420	0.036029	33
5	5	0	0	7,400	0.113636	0.113636	34
6,158	5,823	335	49	5,347	0.028719	0.027854	35
4,732	3,824	908	365	3,718	0.081361	0.065919	39
24,691	21,915	2,776	1,098	4,863	0.077697	0.067106	41
2,411	2,320	91	57	4,094	0.014985	0.014985	46
919	773	146	5	4,923	0.027935	0.027935	47
3,018	2,445	573	103	4,971	0.099042	0.091745	48
89,170	57,948	31,222	728	2,706	0.141571	0.131275	51
12,231	10,045	2,186	51	6,715	0.045174	0.044084	53
2,751	2,078	673	100	4,941	0.011875	0.008937	55
25,689	19,251	6,438	424	5,203	0.059265	0.057059	57
5,459	4,873	586	83	5,195	0.028938	0.027499	59
16,802	14,094	2,708	800	5,367	0.067638	0.067638	61
22,963	17,387	5,576	607	6,061	0.092587	0.092362	63
55,076	38,831	16,245	2,440	4,887	0.102315	0.098394	64
4,963	3,508	1,455	195	3,123	0.171634	0.156625	65
28,811	16,191	12,620	948	3,934	0.077584	0.065192	66
38,070	11,601	26,469	3,189	2,093	0.161867	0.131427	67
95	88	7	2	4,743	0.002512	0.002512	69
403,681	278,657	125,024	13,077	4,167	0.069975	0.060036	